

通信講座修了者の声



匿名

航空自衛隊 二等空佐

< 受講済コース・取得資格 >

「コンプライアンス基礎コース」

「認定コンプライアンス・アドバイザー」

< きっかけ >

私は知人の薦めで、OCODの「コンプライアンス基礎コース」（通信教育）の有用性を知り、航空自衛隊の職業訓練（再就職準備）の一環としていくつかの選択肢がある中で本コースを受講しました。

< 良かった点 >

自衛隊においても国民の信頼を得るため、また、コンプライアンスを組織風土に定着させるため、様々な取り組みをしていることから、私自身も少なからずコンプライアンスに関する知識は有しているものと思っていました。

しかし、実際に受講してみて、企業におけるコンプライアンスの取り組みを通じ企業の成り立ちや企業組織におけるコンプライアンスの役割など、自衛隊と企業との共通点や相違点の基本的な事項を理解できたことは、大変有益でした。

また、私自身が企業の仕組みや組織風土に馴染みがないため、理解に苦労したところもありましたが、企業に疎い私でも容易に理解できるような分かりやすいテキストの内容と構成になっており、企業に再就職する上での良い準備になりました。

今回、通信教育受講を通じてコンプライアンスを体系的に理解できたことから、コンプライアンスの推進担当者として、今後、組織内にその重要性をより深く説明できるとともに、民間企業に再就職した場合に備えて、通信教育で学んだことを実践できるよう、さらなる研鑽を続けていきたいと思っています。

通信講座修了者の声



柴田 篤 様

ブリヂストン化 工 品 ジャパン(株)
コンプライアンス管 理 部

< 受講済コース・取得資格 >

「コンプライアンス総合コース」

「認定コンプライアンス・オフィサー」

< きっかけ >

ここ数年、社内のコンプライアンス関連部署で実務に携わっておりますが、断片的な知識で日々の業務をこなしている状況でした。なんとかもう少し、体系だった知識を習得したいとの動機で受講を申し込みました。

< 良かった点 >

体系的に学んだことにより、全体を俯瞰するレベルが向上したように感じます。また添削問題は、テキストの表面をなぞっただけでは解答できず、内容をよく読みこんで理解したうえで記入することが要求されていたので厳しい反面、内容が身についたと言えます。何より添削してくださる先生方の懇切丁寧な解説が腑に落ち、さらに学ぶ動機付けを得ることができました。職場の後輩に対して教える内容が濃くなりました。

通信講座修了者の声



赤畑 寿晴 様

㈱損保ジャパン・システム
ソリューション

< 受講済コース・取得資格 >

「コンプライアンス総合コース」

「認定コンプライアンス・オフィサー」

< 学習方法 >

学習方法は、「独学（テキスト）」か「独学＋通信添削」の2通りが考えられます。「独学」はテキスト、関連文献を読みノートに纏めて暗記し、「問題集」で理解力を試す。「通信添削」との違いは、理解力を「独自試験」で試すことだと思います。

< 良かった点 >

ここで、同じ理解力を試す場合、判らないことは納得ゆくまで質問できることが「通信添削」の強みだと思います。特に記述式の問題対策では、明瞭簡潔な文章構成力が求められます。

業務でも、「文書構成力」は必要不可欠な技術であり役立っています。急がば回れ。「通信添削は合格への近道」「業務や業務以外にも役立つ」といった大きなメリットがあります。

記述式問題の試験対策だけでも通信添削はお勧めです。

通信講座修了者の声



福井 豊一 様

(株)NTT 東日本 - 北海道
監査役

< 受講済コース・取得資格 >

「コンプライアンス総合コース」

「認定コンプライアンス・オフィサー」

< きっかけ >

2015 年 6 月に監査役に任命されたことです。

< 学習方法 >

初めての経験であるため、先輩の監査役の勧めもあり、日本監査役協会のHPで監査役規程や役割などの勉強を進めていました。

日本監査役協会の参考図書として、「監査役実務入門（ゼロから始める監査役監査）」を購読したところ、本通信講座では体系的に学習できることを勧めていたため、同年 9 月から受講することにしました。

テキスト内容は、コンプライアンスの基礎をスタートとして、企業経営、企業倫理、コーポレート・ガバナンス、内部統制、企業法務と全般を網羅しており、添削問題も的を射た出題となっており、テキストの理解が深まりました。

特に、記述式問題は、改めてテキストを熟読しなければならないこともあり、より一層理解を深めることが出来ました。

内部統制システムの監査のチェックポイントや監査役監査の四半期報告作成に当たっては、本通信講座の内容を大いに参考にして、趣旨を理解した上でまとめることが出来ました。

併せて、関連の参考図書の内容も理解しやすくなりました。

< 良かった点 >

本通信講座を9月～12月の4ヶ月という期間で修了することができましたが、集中して学習できましたし、これからも常に手元に置いて読み返しながら実務に活用できると思っています。

初めて監査役になられた方にとって、短期間で体系的にコンプライアンス及び監査役実務を修得できる入門編として、お勧めできる講座であると思います。

通信講座修了者の声



青山 夕夏 様

青山プロダクション 代表

< 受講済コース・取得資格 >

「コンプライアンス総合コース」

「認定コンプライアンス・アドバイザー」

< きっかけ >

世の中に溢れかえっている通信講座。資格が簡単に取れるということで、私も15以上もの資格を通信講座で取得しました。

7割近くは「高いお金を払ったのに薄っぺらな内容」だったり、「テキストがぺらぺらでただの金儲けとしか思えない」「更新費が毎年かかり、数万円支払い続けなければ資格者だと名乗れない」という非常に残念な通信講座も多く存在しています。

その中で、通信講座「コンプライアンス総合コース」は、基本テキストの厚みもしっかりとあり、3冊あるテキストにはびっしりとコンプライアンスについて記載されており、書籍にも書かれていないような専門的な内容まで網羅されていました。レポートも、簡単に合格できるような作り方ではなく、しっかりとテキストの内容が頭に入っていなければ記載できないような工夫がなされており集中してしっかりと学ぶことができましたし、多くのことを覚えられました。コンプライアンスの基礎が身に付いたと思っています。

< 良かった点 >

地方に住んでいますので、試験が受けられなくても、通信講座でしっかりと学ぶことができ、納得のいく充実した内容の教材に大満足しています。自分自身が認定コンプライアンス・アドバイザーとして自信が持てるようになりました。

通信講座修了者の声



匿名

監査法人 金融部門所属

< 受講済コース・取得資格 >

「コンプライアンス総合コース」

「認定コンプライアンス・オフィサー」

< きっかけ >

私自身はコンプライアンスとは直接的に関連する部門に所属しているわけではなく、これまでに法務やコンプライアンスの勉強すらした事がない人間でした。しかし、多くの会社で内部統制システムが導入された今日においても、経営者自らによる内部統制の無視など企業不祥事が絶えないのが実情です。このような状況において、自分自身のみならず周囲にも率先してコンプライアンスマインドの醸成に貢献できる人材になりたいと思った事が受講のきっかけです。

< 良かった点 >

コンプライアンス推進機構の「コンプライアンス総合コース」では、単に断片的な知識を学ぶのではなく、知識を体系化した上で当事者として「ケースを想定して考える力」を求められるものが多いと感じました。この事により法務・コンプライアンスの素人の私にとっては様々な気付きがあり、成長の機会を与えていただいたと思っています。

通信講座修了者の声



匿名

都 築 電 気 (株)

コンプライアンスリスク管理部

< 受講済コース・取得資格 >

「コンプライアンス総合コース」

「認定コンプライアンス・アドバイザー」

「認定コンプライアンス・オフィサー」

< きっかけ >

社内の組織変更で、従来の「法務部法務課」が「コンプライアンスリスク管理部 法務コンプライアンス課」となったため、上長の勧めで「コンプライアンス総合コース」を受講させて頂きました。受講前の説明会で、7ヶ月間で7回分の課題を提出し、各々70%以上の成績であれば「認定コンプライアンス・アドバイザー」資格が認定される通信講座ということで、テキストを確認しながらであれば頭が固くなった自分でもなんとかなるだろうと思い、軽い気持ちで受講することにしました。

< 良かった点 >

法務担当者として、ビジネス法務についてはひととおり勉強しましたが、コンプライアンスという切り口で勉強する機会がなく、今回の受講で、今後仕事をしていく上で、考え方の根幹を身に着けることができたように感じています。

通信講座修了者の声



山口 美代子 様

(株)インズパークス
業 務 課

< 受講済コース・取得資格 >

「コンプライアンス総合コース」

「認定コンプライアンス・オフィサー」

< きっかけ >

保険代理店に勤務しております。

この度、上司の勧めにより、通信講座「コンプライアンス総合コース」を受講いたしました。

< 良かった点 >

昨今、保険代理店においても、保険会社や金融機関と同レベルの内部管理体制の構築が求められているため、時間を見つけて課題に向かうのは大変でしたが、体系的に学ぶことができて良かったです。また、今まではコンプライアンスをただ法令遵守とのみとらえておりましたが、コンプライアンスについて改めて考えるきっかけにもなりました。

通信講座修了者の声



匿名

広告会社

コンプライアンス担当部門

< 受講済コース・取得資格 >

「コンプライアンス総合コース」

「認定コンプライアンス・オフィサー」

< きっかけ >

コンプライアンスに関わる業務を担当することになった際、コンプライアンスの理解を短期間で深める為に、何か良い手段がないかを探していたところ、会社の先輩から当通信講座を推薦されました。

< 良かった点 >

当通信教育を受講したことで、コンプライアンスの「周辺知識や情報（関連法規や会社経営の基礎情報等）」までを包括的に学べたことが、とても有意義でした。また「認定コンプライアンス・オフィサー」資格取得にも、上手く結びつけることができました。

< 仕事にどう役立っているか >

問題発生時の「初動」や、アドバイスを求められた際の「対応」について、的確な言動を選択できる様になったことが、最も役立っていることです。

また、世の中でニュースになっている様々な不正事案についても、報道のされ方とは別の「自分なりの捉え方」で考える様になりました。

< 未来のコンプライアンス実務家へのアドバイス >

日本社会には、コンプライアンスを「面倒くさい・ネガティブ」なこととして扱い、「面白おかしく扱う（揶揄する）」風潮が残念ながら存在しています。

また、倫理観を問われる大企業の不祥事も後を絶たず、日本社会の、コンプライアンスに対する「未熟さ」を痛感しています。

「今後、コンプライアンスの「本質」をきちんと理解し、それを日常生活や事業活動に活かせる大人たちが増えることは、未熟な日本社会を変える。」それ位の矜持を持って、コンプライアンス実務に向き合うことは大切だと感じています。